

「（仮称）倉敷市商工業活性化ビジョン（案）」の パブリックコメント集約結果

「（仮称）倉敷市商工業活性化ビジョン（案）」について、「倉敷市パブリックコメント手続要綱（平成21年12月8日告示第683号）」に基づき市民の皆様から広く意見を募集しましたが、その結果は次のとおりです。

記

1 意見等の件数

1人 4件

2 御意見の要旨と市の考え方

次ページのとおりです。

3 今後の予定

公表したビジョンに基づき、産業振興を図ってまいります。

4 参考

意見募集期間 令和4年3月8日（火）～3月28日（月）

御意見をお寄せいただきました皆様の御協力に厚くお礼申し上げます。

倉敷市 文化産業局 商工労働部 商工課

No.	御意見の要旨	倉敷市の考え方
1	<p>第2章 5「2050年カーボンニュートラルへの対応」に関して、温暖化物質排出抑制のため、コンビナート立地企業間での技術の共有や開発を行うこと目的にした、研究機関の誘致・開設を図る。</p>	<p>本ビジョンに記載のとおり、企業や国、港湾管理者である岡山県との連携により、脱炭素技術の実証実験や設備投資等が活発化するよう努めていくなかで、必要に応じて検討してまいります。</p>
2	<p>第2章 5「2050年カーボンニュートラルへの対応」に関して、環境省などの様々な施策を生かし、市民の活力を引き出すための「地域密着型の自然エネルギーを活用した事業」の支援など、再生可能エネルギーの普及に向けた施策を飛躍的に進める。</p>	<p>本ビジョンでは、「2050年カーボンニュートラル」への対応を市の産業振興につなげていくための基本的な考え方を示しており、具体的な施策については、地域内経済循環に資するとされるエネルギーの地産地消も含め、今後検討してまいります。</p>
3	<p>将来の「人口減少」「超高齢化」「地域の個別化、差別化への期待」「他地域から人を呼び込む地域づくり」などの課題に対して取組を進める上でのキーワードは「おもしろい」だと考える。倉敷、水島に来ればおもしろいことを学べる、そういったまちづくり、活性化「ビジョン」づくりを望む。</p>	<p>基本戦略4にあるとおり、社会における価値観の変化や地域の特性・課題を「価値の源泉」として、ワクワクする、おもしろいアイデアの事業化を応援し、市内での新たなビジネス展開や創業を支援してまいります。</p>
4	<p>若者が起業したい、起業できると思うまちづくりとして、現在、倉敷市では公共施設の見直し計画が進められているが、古い施設は取り壊し、他の施設との複合化を図るということではなく、耐震・防災対策を施せば利活用できるものがあれば、起業希望者へ貸与も可能ではないか。</p>	<p>市では、創業間もない方や創業希望者に対して、「倉敷ベンチャーオフィス」及び「児島産業振興センター」でのオフィス賃貸事業や創業・経営指導を継続的に実施しております。また、本年3月には、市有施設である倉敷市ファッションセンターの一部に、オフィスとしても活用できるコワーキングスペース「CO-Creation」を整備したところであり、今後もこのような取組を含め、起業支援に取り組んでまいります。</p>